

タットン会 通信

2007. 12. 22

タットン会ホームページ **タットン会** と入力すると検索でき、会の趣旨や開催日時などが確認できます。また、ボランティアセンター 046 (825) 0017 で、確認することも出来ます。

※ 活動中などの写真掲載を遠慮したい方は、事務局までお知らせ下さい!!! (事務局は青バッチです)

(11月の参加費は、8,100円、寄付金、9,800円 計17,900円でした。)

～99名、6年間の中で最高の参加数!!!～

11月24日のタットン会は、平野さんをチーフに6年目にして過去最高の参加者数を記録いたしました。その数 **99名** (思えばスタート時は、上の台中学の体育館で94名の参加者が所狭しと動いておりましたが～!!)。

今回はチャレンジャーさんの参加も多い中、湘南学院のソフト部員・上の台中学生徒やOB～、テスト前にもかかわらず福祉大学生等～ボランティアさんの数も豊富で賑わいました。

初参加者も多く、またまた組み合わせの時間が延びてしまいました。この問題を事務局反省会で相談しましたが、毎回の参加者が変わるので良い案がなかなか出てきません～。

とりあえずは～ ①ある程度試合の形が作れるチャレンジャーメンバーをABグループ ②継続回数をねらうCDグループ ③ラケットにシャトルを上手く当てる練習をEグループというように分かれてもらいながら、事務局員担当を少しずつ固定していかれたらと思っております。(待っている間ペアが決まっているボラさんは、チャレンジャーカードをお読み頂ければと思います)

それにしても、いくら県立大学の体育館といえども100名近くの参加者ですと狭く感じるものです。私自身は、『これからスポーツに親しんでいこう!?!』というチャレンジャーさんと共に過ごしていましたが、感想カードに書かれているコメントを読ませて頂くと、ボランティアさんが色々な工夫を下さっている事を改めて知り、私も負けてはならないな!と感じました。

最後は石堂さんの手話(指で数を数える)と浅羽純子姉さんと荏原さんによる『世界中の子どもたちが』の手話ソングで終わりました。

お知らせ

※事務局員石田恵美子様から、シャトルを寄付して頂きました。ありがとうございました!!!

感想・参加者カード・気がついたこと!!! チャレンジャー28名参加

- ※1 石堂さんと一緒にシングルス・ダブルス等やりました。スマッシュなしというのを我慢してやったり、初心者の高校生とも上手く調整しながら練習が出来ました。～辛抱しながらラリーを続けることも大事だと思います。良くやっていました。(H様)
- ※2 バドミントンをやりました～途中ですぐに飽きてしまう様子が見られました。音楽が流れると～ニコニコと音楽に合わせて踊る姿もありました。(G様)
- ※3 手で投げたシャトルを何回も連続して打ち返すことが出来ました～高めの方が打っていました。(K様)
- ※4 ネットあり卓球にチャレンジ。サーブが出来るようになった。～根気よく練習するので、一歩ずつ進歩しています。(N様)
- ※5 とっても元気に楽しくできました。`ありがとう` `ごめん` と素直に言って、ラリーも続きました。(S様)

今回のチーフ平野さん



手話：指数(左下)とソング(右下)



一人のボラさんがいると、一人はシャトルを投げて、もう一人はチャレンジャー対応が出来ますね!



- ※6 最初は打ち合いをしていたのですが、なかなか続かないのでシャトルをラケットにあてる練習をかなり上達したと思います。～疲れが表面に出にくいので、休憩をはさんであげた方が良かったかな?と思いました。(S・A様)
- ※7 H君は人見知りせずにお付き合いしてくれました。参加してまだ二回目なのに、場に慣れていたので嬉しく思います。前半はシャトルや風船で試してみましたが興味は薄く、後半はギャラリーに行きマラソン? (追いかっこ)。走ることが好きなようで、5周くらいしました。続けることで大きな力になってくると思います。～言葉は理解してくれているようです。表情豊かなH君でした。(S・K様)
- ※8 ～野球の構えをしたり、楽しかったです。～なかなか続かなかつたけれど、当たるととても楽しそうで良かったです(T様 M様)

余暇活動

～パート24～

2年前の38号(パート1)にも書かせて頂きましたが～
 障がいがある方々の進路はとても厳しい現状がありますが、成人になり社会に出たときの余暇についても、健常の方々とは違い何もかも思うようにならないことが多いと思います。今から3年前、宮城県や埼玉県等にも足を運び、作業所や更生施設等を見学させていただきました。
 そこでは、重度障がいがあるにも関わらず立派に社会人として仕事を持ち、生き生きと働いている姿がありました。しかし、それはほんのひとにぎりの枠にしか過ぎないのが現状と思います。また、余暇支援も話題になりました。大きな課題として考えていくことの課題でもあり、余暇を広げるには成人してからでは遅く、幼い頃からの多くの経験が必要とのことでした。
 支援者も、どうすればもっと多くの障がいがある方々も働けて、自立に向けグループホーム等の支援を広げて行くのか? 余暇支援をもっと広げていきたい!...等、真剣に親亡き後の子の将来を考えておりました。
 また、重度障がいがある長男を持つある新聞記者の方は、『～取り返しがつかないような事が起こらないためにも、色々な障がい児・者がいることを、もっと多くの人に知って貰う事が重要だと思います。我々の子供達が安心して地域で楽しい人生を送れるように、福祉の中だけでなく福祉の外側もみんなで耕していきたい』と講演しておりました。いつの間にかタットン会も、障がい児が障がい者になっています。数年前の卒業生は、もうとっくに二十歳を過ぎております～。
 タットンかず 佐藤一雄

第63回タットン会 本日 12月22日の流れ 於 県立保健福祉大学

- 8:30 ～ 準備
- 9:00 受付開始
- 9:30 本日の説明 ペアになって、カード確認
自己紹介・ハイファイブ or 握手
体操(ディズニー or ラジオ体操)、各種目へ
- 10:20 休憩(けん玉?で遊ぼう?)
- 10:40 後半競技～(試合形式に挑戦!?)
- 11:10頃 パラシュート!
- 11:20頃 片づけ・モップ、感想カード記入
(手話コーナー)・けがの確認
- 11:40頃 解散

～仲間と、素敵な笑顔～



左下写真、整理された部員のバック
 右下写真、湘南学院ソフト部員達



本日の担当者

チーフ・セッティングチェッカー：西方美貴・荏原優子他
 継続受付：鈴木孝芳・林美佐子 ほか
 新規受付：浅羽純子 新規説明：佐藤一雄ほか
 全てのサポート：県立大学学生・事務局メンバー

《今年度(2007)の予定》

2007年度 ホームページで確認を!!!
 次回 2008年 1/26・2/16も
 県立保健福祉大学に決定です!!!

※→3/30(日)にタットン大会 アリーナを予定